

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 15日

事業所名 じぶんみらいココイロ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	0	必要な場合は隣の園庭を活用し、児童が身体を動かせる場を設けています	対象児童を主に中学生～高校生としているため、一人ひとりの身体が大きく運動等を取り入れる活動内容によっては教室スペースが狭く感じるかもしれません。運動等は、園庭や糸満市のグラウンド等を上手く活用することを考えていきます。
	2	職員の配置数は適切である	2	3	0	就労支援センターたまんの応援体制を得て、児童支援にあたっています。	法令基準を上回る職員の配置ではあるが、利用児童の特性や個別活動の支援内容によっては、余裕がない場合もあります。そのため、左記のような調整を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	0	事業所内の設備はバリアフリー化の配慮を行っています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	2	1		児童の支援に対しての話し合いが多く、業務改善についての話し合いが少ないように感じます。改善業務の優先順位が高いものからPDCAサイクルを実施するよう取り組みます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	3	1	保護者等向け評価表はまだ出来てないが、電話や対面で保護者からの苦情や以降は把握し改善しています。	開所1年で初めての自己評価であり、今回のアンケート調査で保護者の意向を把握し、支援に重要な事項を優先に業務改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	3	2		今回初めてのアンケート調査であったので、集計した結果を公開し、支援の向上、業務改善につなげていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3	2		第三者評価は行っていないが、隣接のこども発達支援センターココイロ、就労支援センターたまん職員等の支援、助言を受けています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	ココイロやたまんでのOJT等、各職員の階層研修等を実施しています。	研修後の研修内容を職員間で共有する場が不足しているため、研修内容を発表する場を設け支援に反映させていく必要があります。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	・アセスメントを行い、本人、家族のニーズを確認し職員間で会議を開き、計画を作成しています。 ・必要な場合に、行動支援計画も立て、個別支援計画と合わせて支援に反映させていきます。	成長のスピードとタイムリーな課題に対する支援計画が難しいこともありますが、その期間に必要な支援計画を立てていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3	0	支援ソフトを使用し、職員間で情報を共有を行っています。	・スタッフ全体で共有できるよう検討中です。 ・生活面や学習面のチェックリスト等の独自のアセスメントツールも設け、個別支援を更に深める必要があります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	毎月のプログラムの作成時には各職員の意見を求めています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	0	学習名は同じであっても、提供する内容を替えており、固定化しないよう努めています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	4	0		長期休暇等活動時間が長い場合のプログラム内容は早めに検討し、更に深い内容にするよう取り組みます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	2	0	一日のプログラムの中でも、集団活動(学習)に加え、個別活動(学習)を取り入れ、不得意分野の支援に取り組んでいます。	個別支援については、更にどこで躓きがあるのかなど、細かい部分を把握し、それを職員間で共有し統一した支援が行えるよう取り組みます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	0	支援開始前に、業務の確認を行っています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	1	・終了後の振り返りは毎日行われていないが気付いた点は共有しています。 ・次の日の午前中に支援内容の振り返りを行い、業務の確認を行っています。	全職員が同じ認識で支援にあたることができるよう、改めて会議の時間を設ける必要があるのか、検討していきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	0	日々の活動の内容を記録し、そこから次の支援内容などを考え、共有しています。	日々の記録に時間が掛かり、必要な支援を考え共有する時間が少ない場合もあります。ミーティング等、支援内容を考える時間を設けるよう取り組みます。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	・定期的なモニタリングを行い、ご家族や本人のニーズを確認し支援計画に反映させています。 ・学校等担任等含めた担当者会議等で新たなニーズがある場合は適宜支援計画を立て直しています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4	1	0	ガイドラインの基本活動を複数組み合わせ支援を行っています。	ガイドラインを基に支援を行っていますが、まだ職員間の周知が不足しているため、さらに把握できるよう取り組んでいきます。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0	必要に応じて、担当職員も参加しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	0	学校送迎時等に、学校とも情報を共有し、連絡調整を行っています。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5	0		対象児童がいませんでした。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	0	0	以前利用していた児童発達支援事業所や放課後等デイサービス事業所、学校などと連携し情報の共有を行っています。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	0	福祉サービス事業所へ移行する場合には、担当者会議等を開き、これまでの支援内容の情報を提供しています。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	0	同法人の児童発達支援センターの専門職より適宜助言を受け、研修も受けています。	助言内容や研修内容等を職員間で周知することが不足しているので、ミーティング等で助言内容などが共通認識できるように努めていきます。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	0	5		新型コロナウイルス感染症予防対策のため、これまで実施しておりませんでした。今後は感染状況を確認しながら地域行事の参加や他事業所との交流を検討していきます。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	0	0		・地域自立支援協議会へは積極的に参加していますが、職員への周知が不足していました。知り得た内容等は職員間で情報の共有していきます。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	送迎時や面談時、必要に応じて電話等にて、適宜状況や課題をご家族と共有しております。	帰宅の送迎が開始された以降は、保護者との情報伝達が難しくなっているように感じます。必要な場合は電話などで情報を共有し、不足が無いよう対応していきます。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	1		これまで新型コロナウイルス感染予防のため、集まった研修会議等は行っておりませんでした。今年度は5月に親子会を予定しており、保護者への講話(就労に関する内容)を行います。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0	契約時に説明を行っています。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0	保護者と課題面等の共有を行い、適宜必要な支援を行っています。	送迎時などご家族との会話を通じ、相談しやすい環境を作り心掛けています。必要な場合には時間を設けて対応できるようにしていきます。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	1		・これまで、新型コロナ感染予防のため、集まっていた研修会議等は行っていませんでした。今年度は5月に親子会を予定しております。保護者への講話(就労に関する内容)と共にレクやBBQを行います。 ・保護者間や職員との交流はとても大切ですので、今後もイベント等の開催を企画していきたいと思っております。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	・苦情ボックスを設置しております。 ・契約時に苦情などの担当者を伝えていきます。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	0	月1で広報を発行しており、また、ホームページ内のブログでも活動内容を発信しております。	
	35 個人情報に十分注意している	5	0	0	個人用ファイルを作成し、施錠できる棚(事務所内)で保管しております。	職員は、個人情報保護規程や誓約書等により個人情報保護を遵守しています。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	・児童に関しては、場所や時間に配慮し、本人が気持ちを伝えられる場を考えています。 ・保護者に関しては送迎時や面談時、必要に応じて電話等にてご家族と情報共有しています。	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1	4		新型コロナ感染予防のため、地域との交流を持つことが難しかったです。今後は、法人全体での祭り等があれば積極的に参加していきます。	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	0	緊急時、防犯マニュアルは玄関通路に掲示しております。また、感染症に関しましては、厚生労働省のガイドラインに従い、対策を行っています。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	2階のグループホームシエルと共に、年に2回避難訓練を実施しております。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	年2回、法人内で設定された研修を行っています。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	0	必要な場合は保護者と連携し支援方法について考え、本人に合った対応を考えています。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	5	0		これまでは対象の児童がいませんでした。今後については、必要時に保護者と連携して対応していきます。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2	0	ヒヤリハットや事故等生じた内容を記録し、ファイルに保管しています。	・共通ソフトの中に、ヒヤリハット様式を作成し、危険が多い場所などの統計が取れるようになっていきます。 ・事故報告書を作成しファイルに保管していることを職員に周知していきます。